

製品名: リカバリンウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab16991**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	23kDa

抗原情報

遺伝子名	RCVRN
別名	RCVRN; RCV1; Recoverin; Cancer-associated retinopathy protein; Protein CAR
遺伝子 ID	5957.0
SwissProt ID	P35243
免疫原	抗血清はヒトリカバリン由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 107-156

背景

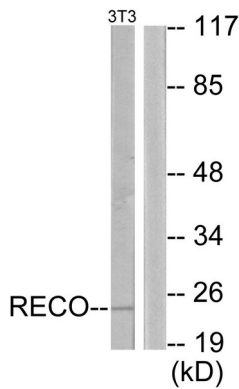
この遺伝子は、神経カルシウムセンサーのリカバリンファミリーのメンバーをコードしています。コードされているタンパク質には、3つのカルシウム結合 EF ハンドドメインが含まれており、光活性化ロドプシンのリン酸化を阻害することで、網膜における光情

報伝達カスケードの終結を延長する可能性があります。リカバリンは、癌関連網膜症の原因抗原である可能性があります。[RefSeq 提供、2008年7月];疾患: 他の組織の腫瘍によって引き起こされる網膜の自己免疫疾患である癌関連網膜症の抗原として特定されています。機能: 網膜桿体グアニル酸シクラーゼからロドプシンへの経路に関係していると思われます。カルシウム依存的にロドプシンのリン酸化の阻害に関与している可能性があります。カルシウムと結合したリカバリンは光応答を延長します。その他: 2つのカルシウムイオンに結合します。1つは親和性が高く、もう1つは親和性が低い。類似性: リカバリンファミリーに属します。類似性: 4つのEFハンドドメインを含みます。組織特異性: 網膜と松果体。

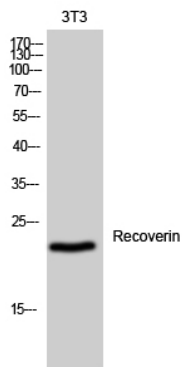
研究分野

シグナル伝達; シグナル伝達経路; カルシウムシグナル伝達; カルシウム結合タンパク質; 神経科学; 感覚系; 視覚系

画像データ



Recoverin 抗体を用いた NIH/3T3 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



Recoverin ポリクローナル抗体を用いた 3T3 細胞のウェスタンブロット解析